

令和6年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 市5

松戸市立松戸高等学校 全日制の課程 国際人文科

1 期待する生徒像

人物、学業ともに優れており、次のア又はイのいずれかに該当する生徒

ア 学業においては特に英語・国語・社会に優れるとともに、特別活動等や資格取得に実績を有し、目標や志を持って、意欲的に高校生活を送れること。

イ 国際人文科の各科目に興味を持ち、グローバルな視野で社会や人間について考えるとともに、意欲的にコミュニケーション能力を向上させる意志があること。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1名約5分 面接は日本語で行う。評価者が英語で質問し、受検者が英語で応答する質問を1問設定する。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔550点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（国語・社会・数学・理科は100点満点、英語は100点満点の得点を1.5倍して150点満点）の合計550点満点で評価する。

(2) 調査書〔170点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限35点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数が1個以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。 「特記事項」に英語検定、漢字検定、数学検定各3級以上の記述があった場合は加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判断する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔40点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（やや問題がある）・d（問題がある）の4段階で評価する。2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～d d）で得点化する。評価dが1つでもある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 質問に対する応答・意欲	質問内容を的確に理解し、適切に回答することができる。 回答の内容が、具体的でわかりやすい。 国際人文科の特徴を理解した上で、高校生活（学習・部活動等）に意欲的に取り組もうとしている。
イ 身だしなみ・態度	服装・頭髪等身だしなみが整えられている。 言動に落ち着きがあり、基本的な面接作法が身に付いている。

## 4 選抜方法

### (1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

< 総得点の満点の内訳 >

学力検査の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=1)	加点	面接	
550点	135点	35点	40点	760点

### (2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

## 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。